

質 疑 一 般 質 問



かなもり かずみち
金森和道 議員

明日の熱海

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■ 空き家等の対策 ■ 市営住宅の現状と今後

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



世界レジャー会議の招致、受入後の成果活用について 防災気象情報について

〔質問〕 2030年に

世界レジャー会議を熱海に招致することは、世界に向けて新たな熱海の姿を発信する大きな機会になると考える。受入環境整備の成果を会議後の観光施策やまちづくりにどのように反映させていくのか。

〔答弁〕 会議を通じて

得られる国内外のネットワークや知見は、熱海観光局や関係者団体とも共有し、受入環境整備、平日閑散期対策、地域回遊の促進などに活用していく。また会議後には成果を整理し、

観光基本計画の進捗管理や次年度以降の事業検討に反映させていく。

〔質問〕 5月28日から

防災気象情報の伝え方が変更された中で、6月初旬の台風6号の接近でレベル4の土砂災害危険警報が発表されたが、同報無線の放送が聞きづらいと西部地区をはじめ市内全域で同様の声があった。この対策対応はどうするのか。また、インターネットの地図上で危険度を確認する方法及びインターネットに不慣

れな方への対応は。

〔答弁〕 同報無線は災害情報伝達の中心だが、聞き取りにくい場合があるため、緊急速報メールやLINE（ライン）、X（エックス）など複数手段で情報発信している。危険度は気象庁のホームページに掲載の「雨雲の動き」や災害の危険度をリアルタイム表示する「キキクル」で確認でき、インターネットに不慣れな方はメールマガジンや同報音声サービスも利用できる。

来宮駅機能強化の検討状況について 下水道等事業の官民連携について

〔質問〕 昨年6月定例会で

弊職は来宮駅の機能強化による渋滞緩和策等を提言した。前向きな答弁だったと承知しているが、市の検討状況は。

〔答弁〕 現在、庁内で利活用案の方向性を整理しており、その方針がまとまった段階で関係者の皆様へ意見聴取を行っていく。

〔意見〕 新聞報道で観光局

の案が大きく取り上げられたが、何でも観光に寄せていくのはいかがか。来宮駅は生活路線の色彩が強い。関係者の意見を聞くのなら当然住民の方を重視とすべきことは申し上げておく。

〔質問〕 本市では下水道等

で官民連携（※ウォーターPPF導入）へ向けて準備中。経費削減は見込めるのか。

〔答弁〕 試算では、10年間で2億円程度削減を見込んでいる。

〔質問〕 物価上昇もあるの

で簡単ではないと思うが、経費削減ができるなら下水道も今後検討されないのか。

〔答弁〕 下水道と同様に施設の老朽化対策や料金面の課題もあるが、災害や事故などに柔軟な対応も必要のため現時点では対象としていない。

〔要望〕 確かに2月の大雪

の時の断水に素早く対応できたのは良かったと思う。一方で水道料金の値上げも今後避けては通れないし、市民生活には影響が大きい。官民連携での経費削減と迅速な事故対応を両立するため、今後の技術継承を見据えてノウハウを蓄積していただきたい。



やま だ かげあき
山田景照 議員

新政熱海

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会
(副委員長)

その他の質問項目

■ 地域特性を踏まえた小型緊急車両の有用性

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから

